

# 虫歯が腎臓病に悪影響？

聖隷浜松病院・三崎センター長が研究

虫歯が腎臓の病気に影響している？。聖隷浜松病院（浜松市中央区）の三崎太郎腎センター長らが、透析などに至る可能性のある腎臓の病「IgA腎症」と、う蝕（虫歯）との関連についての研究を進めている。虫歯の原因菌の一部がIgAというたんぱく質と複合し、腎臓に悪影響を与えている可能性があるという。

三崎センター長らが健康な人たちの「健常群」とIgA腎症群の計170人について唾液を調べた。虫歯原因菌の「ミュータンス菌」のうち、同菌の「Cnm遺伝子」が陽性だった人は健常群で11・5%、IgA腎症群で27・5%と統計的に有意な差があった。健常群、IgA腎症群49

人ずつについて虫歯になったことがある本数を比較しても、IgA腎症群の方がスコアが高かった。Cnm遺伝子が陽性のミュータンス菌は「ゴツゴツして、いろいろなどころにくつつきやすい」（三崎センター長）といい、同菌のたんぱく質がはがれ、IgAなどがくっ



IgA腎症と虫歯との関連について説明する聖隷浜松病院腎センターの三崎太郎センター長  
＝6日、浜松市中央区の同病院

## 原因菌と関連リスク「ケア、歯科受診を」

つく複合体の核となっている可能性がある。三崎センター長らはフラットを使った試験でも、Cnm陽性ミュータンス菌がIgA腎症のような腎炎を引き起こすことを確かめた。

三崎センター長はかつて、血尿や尿たんぱく量が多く腎機能も低下した患者の多くで虫歯が多い一方、歯科治療を行った患者で尿たんぱく量が減少したことに注目。大阪大歯学部の中野和彦教授らに協力を呼びかけ、2013年ごろから研究を進めてきた。現在は口腔（こうくう）ケアによってたんぱく尿が減らないかなどを試す研究に取り組んでいる。

三崎教授は「歯は全身の健康に関わる。年に1度の検診に加え、歯磨きや歯間ブラシを行うこと、歯科受診なども勧めたい」と話している。

（浜松総局・松浦直希）

**Q** IgA腎症 腎臓の糸球体に、異常なIgAと抗体による「免疫複合体」が沈着し、腎臓に炎症が起きる。血尿や尿にたんぱく質が出る「たんぱく尿」などが主な症状で、末期腎不全による透析や腎臓移植につながる可能性もある。国内に約3万3000人の患者がいると推計されている。